

# 未来洞察のプロセス

STEP 1

STEP 2

STEP 3

STEP 4

INPUT

「非連続な未来の兆し」を直感的に抜き出した大量の客観的情報

スキャニング・  
マテリアル

社会変化仮説

- ・社会変化シナリオ・未来年表（5-6個）
- ・未来 이슈ー（企業の事業カテゴリー）

WORKSHOP  
PROCESS

収集した情報から記事を作成する  
①記事の要約  
②コメント（未来への示唆）  
③タイトル

KJ法を活用して、マテリアルの似たものをクラスター化し、タイトルをつける

- ・仮説を、25個の指標で評価する
- ・評価の結果をコレスポネンス分析を行いクラスター化する

社会変化仮説と未来 이슈ーをクロスしてアイデアを強制発想する

OUTPUT

未来の方向性を示唆する仮説となるスキャニング・マテリアルを大量に（100~150個程度）創出する

10~20年先に起こり得る複数の社会変化仮説を立案する

不確実な社会変化シナリオ・未来年表を作成する

社会視点と技術起点を掛け合わせたインパクトダイナミクスアイデア